

利益相反事項

研究名称：「胃癌 Stage III の術後 Docetaxel+S1 (DS) 療法後早期再発症例に対する
Ramucirumab + Irinotecan 併用療法第 II 相多施設共同臨床試験
(OGSG 1901)」

研究代表医師：大阪医科薬科大学病院 化学療法センター 後藤 昌弘

研究事務局：大阪医科薬科大学病院 化学療法センター 山口 敏史

対象医薬品等の製造販売業者と各実施医療機関の研究責任医師・研究分担医師との開示すべき COI

株式会社ヤクルト本社との COI について		
	実施医療機関名	人数
1	大阪大学医学部附属病院	1

日本イーライリリー株式会社との COI について		
	実施医療機関名	人数
1	大阪大学医学部附属病院	1
2	香川大学医学部附属病院	1
3	近畿大学病院	1

第一三共株式会社との COI について		
	実施医療機関名	人数
1	近畿大学病院	1

利益相反事項

研究名称：「胃癌 Stage III の術後 Docetaxel+S1 (DS) 療法後早期再発症例に対する
Ramucirumab + Irinotecan 併用療法第 II 相多施設共同臨床試験
(OGSG 1901)」

研究代表医師：大阪医科薬科大学病院 化学療法センター 後藤 昌弘

研究事務局：大阪大学大学院医学系研究科 先進癌薬物療法開発学
大阪大学医学部附属病院 消化器外科 山口 敏史

対象医薬品等の製造販売業者と各実施医療機関の研究責任医師・研究分担医師との開示すべき COI

株式会社ヤクルト本社との COI について		
	実施医療機関名	人数
1	大阪大学医学部附属病院	2

日本イーライリリー株式会社との COI について		
	実施医療機関名	人数
1	大阪大学医学部附属病院	1
2	関西医科大学附属病院	1
3	近畿大学病院	1
4	香川大学医学部附属病院	1

利益相反事項

研究名称：「胃癌 Stage III の術後 Docetaxel+S1 (DS) 療法後早期再発症例に対する
Ramucirumab + Irinotecan 併用療法第 II 相多施設共同臨床試験
(OGSG 1901)」

研究代表医師：大阪医科大学附属病院 化学療法センター 後藤 昌弘

研究事務局：大阪大学大学院医学系研究科 先進癌薬物療法開発学 山口 敏史

対象医薬品等の製造販売業者と各実施医療機関の研究責任医師・研究分担医師との開示すべき COI

株式会社ヤクルト本社との COI について		
	実施医療機関名	人数
1	大阪大学医学部附属病院	2

大鵬薬品工業株式会社との COI について		
	実施医療機関名	人数
1	地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪急性期・総合医療センター	1
2	香川大学医学部附属病院	1

日本イーライリリー株式会社との COI について		
	実施医療機関名	人数
1	関西医科大学附属病院	1
2	近畿大学病院	1

利益相反事項

研究名称：「胃癌 Stage III の術後 Docetaxel+S1 (DS) 療法後早期再発症例に対する
Ramucirumab + Irinotecan 併用療法第 II 相多施設共同臨床試験
(OGSG 1901)」

研究代表医師：大阪医科大学附属病院 化学療法センター 後藤 昌弘

研究事務局：大阪医科大学附属病院 化学療法センター 山口 敏史

対象医薬品等の製造販売業者と各実施医療機関の研究責任医師・研究分担医師との開示すべき COI

株式会社ヤクルト本社との COI について		
	実施医療機関名	人数
1	大阪大学医学部附属病院	3

大鵬薬品工業株式会社との COI について		
	実施医療機関名	人数
1	香川大学医学部附属病院	1

ファイザー株式会社との COI について		
	実施医療機関名	人数
1	近畿大学病院	1